

SHIMIN
市民フォト
PHOTO

鹿児島

☆特集／鹿児島のこころ

NO.
66

平成8年10月1日発行





わが町 上空散歩

荒田上空から

荒田は、その地名が約八百年前、鎌倉幕府の史書「吾妻鏡」に登場する由緒深い土地であり、薩摩藩政時代は城下の穀倉地帯としての役割を果たしてきた。写真の上部、緑の敷地に開われた鹿児島大学の右側が上荒田町、その下、写真の中央部に位置するのが、荒田一・二丁目に、さらにその下で写真の右下部を占めるのが下荒田一・四丁目である。

現在の荒田は住宅街として、また学生街として、ひつしりとビルやマンションが立ち並び、皆全くなっている。荒田地域を上空から眺めてみると、中央石、荒田八幡宮である。古くからマムシよけの神として知られ、現在でも、初もうでや六月灯では多くの参拝客で賑わっている。

写真右下の方の緑屋根の校舎とグラウンドを持っているのが、八幡小学校。今年創立一二〇周年を迎えたばかりの新鮮なメバチグロの脇腹が白く光っている。

写真中央部に小豆色の体育馆とグラウンドが見えるのが、荒田小学校。カヌー教室など元気いっぱい色々なことにチャレンジしている学校である。

荒田の通りを歩くと若者が多いのに気がつく。荒田は若者の街として常に変化し続ける魅力ある街でもある。

CONTENTS	
● 表紙写真説明	
● 食欲の秋、市魚類市場を訪ねてみた。 みずみずしい朝の張りつめた空氣の中、水あけされたばかりの新鮮なメバチグロの脇腹が白く光っている。	
普段は我々の目に止まらないが安全でおいしい魚を市民に提供するために、多くの人々が朝早くから頑張っている。そのことが実感できる。	
写真は、体重約60キロの巨大マグロを支える頼もしい表情の魚市の大山剛さん(中央)と外園光二さん(左)そして、ミス鹿児島の濱田恵理子さん。	

市民フォト鹿児島
No.66

わがまち上空散歩

No.66

【特集】鹿児島の「こころ」

2

クローズアップ ● 松下賢治さん

3

学校探訪 ● 西谷山小学校

14

シティーアングル ● 街かどのふたり

19

私の好きな場所 ● 貴見進一郎さん

20

カメラトピックス

16

ハロー鹿児島 ● 李洪川さん

18

かごしまの自然 ● 慈眼寺公園

25

市民ギャラリー ● 谷山市民会館

26

あなたのフォトサロン ● 森山正康さん

28

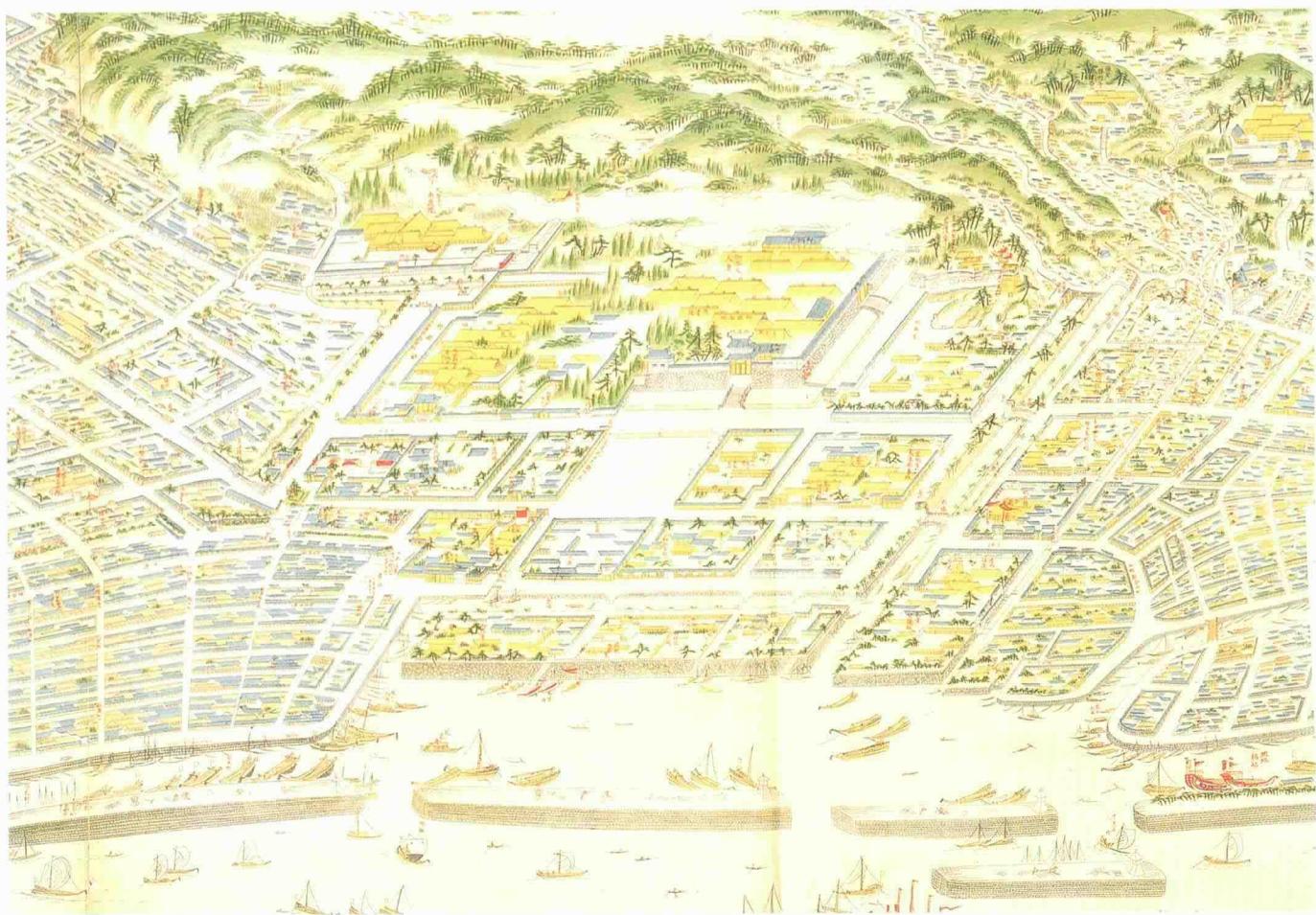
集え! 楽し ● 鹿児島天体写真協会

30

市立美術館 ● 女達

31

【特集】 鹿児島のこころ



江戸時代の鹿児島城下図(薩藩沿革地図より)

鹿児島というと何をイメージするだろうか。「桜島」「西郷ドン」「焼酎」。確かにこの3Sはインパクトが強い。ただ、それだけが鹿児島ではない。鹿児島は、変化に富む雄大な自然を誇り、多くの熱き人々を生み出してきたまさに「自然と人の宝庫」。そして、現在も南九州の中核市として、賑わいと活気をみせていく可能性進行形の街。

今回の特集では、暮らし、料理、教育の三つの分野で、我々の先人が自然と調和し、造り上げてきた「大切な物」そして、その「こころ」を探るべく、多くの市民の方々にお話をいただきました。さあ、みなさんも一緒に、小さい頃に出会った、あるいは、今もその体内に脈々と息づいている「なつかしい街の色、匂い、味、人々の声」に再会する旅を体験してみませんか。

「鹿児島のこころ」はいつでも両手をひろげて、あなたを待つていています。

暮らし

なつかしい風景を探して

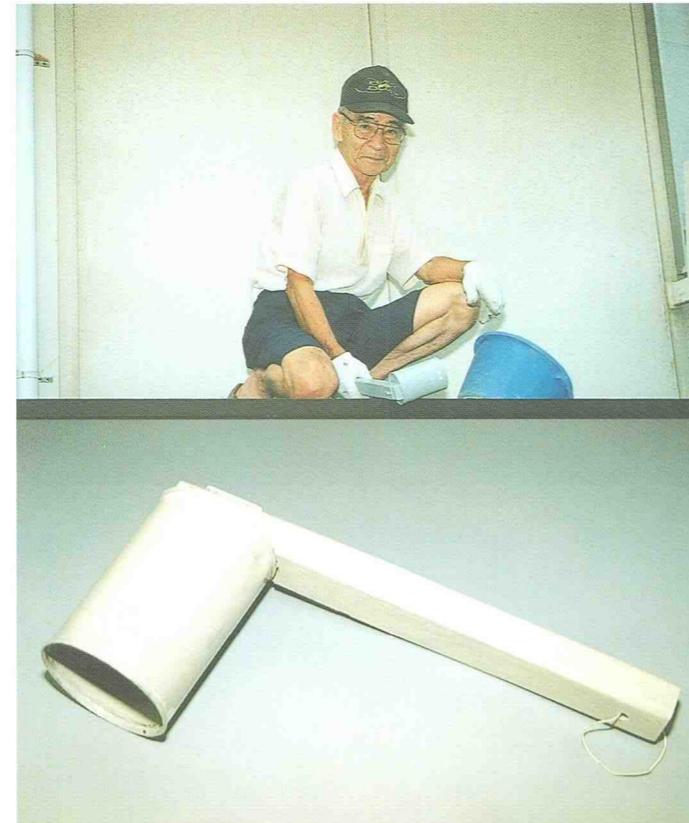
みなそれぞれ「なつかしい風景」というものを持つています。思い出してみると小さい頃の近所の路地とか、かわいがつてくれたおじいさんの笑顔とか、ごく身近なものが多いうです。鹿児島の街のなつかしい風景としてみなさん何を思い出されるでしょうか。ここでは、鹿児島の街をスケッチし続けている太原久雄さんが十年前に描いた鹿児島の街の風景を紹介します。みなさんはいくつ覚えていらっしゃいます。みなさんにとっての自然と巧みに共生してきた「暮らし」や、「子どもの頃の思い出」から見えてくる、なつかしい「暮らしの風景」を紹介していきます。



太原 久雄さん
(西伊敷3丁目)

鹿児島の街を描いて50年。
今も昔も
変わらないのは人情。

鹿児島の人気が持っている
「あたたかさ」が
そのまま、街の表情。



暮らしの知恵

雨どいの降灰とり

清水町 上村 正彦さん

(作り方) ジュースのあき缶の一方のふたを取り、三十センチぐらいの木の棒をネジで取り付ける。桜島の風景を鹿児島市内のあちこちから描くのが好きなんですが、いつの間にかビルの高層化が進みどこからでも描くという訳にはいかなくなりましたね。今は昔も変わらないのは人情でしょか。方々でスケッチをしていると、よく励ましの声をかけてもらいます。おばあちゃんにお茶とあめ玉を持ってきてもらつたときには、恐縮しましたけど(笑)。鹿児島の人気が持っている「あたたかさ」がそのまま、街の表情になつていています。それを描き続けていきたいです。

移植ごてを使うより労力を要さずに灰がとれます。何よりも、簡単に作れて、お金がかからないというのが気に入っています。かかる手も荒れない。

(衣) 桜島に雲がかかっていると雨になる。かつお節をかけると柔らかいのは雨の兆。はちの巣の低いのは台風の多い年。(天候) 和服は厳寒期の天気のよい温度の低い日に虫干しをすると長持ちする。子ども們、夏の夜、寝冷え防止に寝袋をつけていく。

(食) もちをつく時、さかずき一杯の焼酎を入れてつくと、さびが出ない。灰汁(あく)で食器を洗えばピカピカになる。手も荒れない。

(住) さびのついたときは油をぬると打ちやすく、新しいときは酢をつけて打つと抜けにくい。手も荒れない。

暮らしの風景

・小学3年生の頃、友人と紫原に遊びに行つた時のことです。当時の紫原は畑が多く、いわゆる「こえだめ」が畑の隅にありました。こえだめの表面は折りから晴天でかばかばに渴いており、友人の一人がその上に乗り遊んでいました。それを見たもう一人がその上に乗つたとたん、「ジャボン！」腰までつかった二人のくさいことくさいこと。帰り、泣き止まない二人を裸にして、新川に投げ込んだことを覚えています。

(鴨池2丁目 48歳 男性)

・小学生の頃、近所の上級生が伊敷の山に探索に行くということで集まっていました。「ぼくも連れていく」というと「おまえは、肥後守(当時20円くらいの小刀)を持っているか、肥後守を使えるくらいの上級生でないと探検にはいけないぞ。」とのこと。急いで家に帰り、母に頼み込んでこづかいを前借りして肥後守を用意して、探検に参加できました。探検ではポケットの中の肥後守は一度も使わなかつたけど、大人の仲間入りをした様なうれしい気持ちでした。

(東京在住 45歳 男性)



当時の鴨池マリンパーク前(上)と現在(下)



なつかしい風景、
「いつのまにか」



当時の鹿児島刑務所正門前(永吉町)(上)と現在(下)



10年前の鹿児島の一風景



当時のボサド桟橋前(住吉町)(上)
と現在(下)



当時の滑川市場前(小川町)(上)
と現在(下)



当時の伊敷ニュータウン(西伊敷から望む)(上)
と現在(下)



食

「食」はその土地柄を表すという。厳しくも豊かな自然の中、鹿児島でどんな食が育まれ、どんな料理が生まれたのか。このコーナーでは先人たちが知恵と工夫を凝らして作り上げた郷土の食文化について、鹿児島栄養専門学校校長の今村知子さんにお聞きしました。また、家庭で手軽につくれる、秋から冬にかけての鹿児島の味についてもご紹介願いました。

鹿児島の料理は、まわりでとれるものを生かした素朴な料理。素朴であるだけに、みんなが元気でいてくれるよつに」という母の気持ちを強く感じます。



今村 知子さん

①鹿児島の歴史的風土と食の関係をお聞きしたいんですが。

まず、他と違うところは米がどれくらい点ですね。山が多くて平地が少ないので琉球など南方からでさつます。二つ目は中国からでふくれます。三つ目は大和文化からです。児島では豆腐のことを「おかべ」といいます。児島に残ったということです。最後が鹿児島独自の料理です。つまりそれが鹿児島の料理です。つまりそれが鹿児島ならではの手で持つて食べますね。

さつまいもとごぼうを使つた「ね」というてんぶらや野草の一種であります。つまりでとれるものを生かした素朴なものは、みんなが元気でいてくれるようになります。

鹿児島は地理的に色々な国の食が交流する国际色豊かなところです。影響交換する4つの分類ができます。一つ目は琉球など南方からでさつます。二つ目は奈良時代の吉語がそのまままい鹿児島に残ったということです。最後が鹿児島独自の料理です。つまりそれが鹿児島ならではの手で持つて食べますね。

③郷土料理の魅力を教えてください。

よく、「料理をしてみると、小さい頃母が作つてくれた料理になる。」といいます。味の全ての原点が家庭であります。家庭で心を込めた料理を作つてあげます。親から子へ家庭の味が受け継がれます。親からういたものが文化だと思ひます。

さつまいもとごぼうを使つた「ね」というてんぶらや野草の一種であります。つまりでとれるものを生かした素朴なものは、みんなが元気でいてくれるようになります。親からういたものが文化だと思ひます。



湯なます

湯なますは、昔交通の発達していない頃の山間部のご馳走であった。山深い地方では新鮮な魚ではなく、塩干しや塩漬けのさば・いわし・あじなどを売りにくると、それらの魚の細切りと大根、にんじんなどと一緒に炒めたり、清汁風にたっぷりの汁に酢を加えてさっぱりとした味に仕上げ、みんなで食卓を囲んで、心まで暖まる食べものであつた。

▶(イ) 清汁風

材料(4人前)

大根…150g／にんじん…60g／うるめいわし(またはあじ)…150g／出し汁…8カップ／(A)(薄口醤油…大さじ1/2、みりん…大さじ1、酢…大さじ3、塩…小さじ2)

作り方

- 大根、にんじんは太めのせん切りにする。
- うるめいわしは頭と腹わたを取り除き、2センチ位のぶつ切りか、7~8ミリの薄い巾に切る。
- ②の魚に、熱湯をかけて霜降りにする。
- 鍋にだし汁を入れ、大根とにんじんを入れて弱火で煮、火が通ったら③の魚を加えてさっと煮、調味料(A)を加えて味付けし、熱いうちにいただく。

▶(ロ) 炒めものの風

材料(4人前)

魚…200g／酢…大さじ1／大根…120g／にんじん…50g／油揚げ…1/2枚(40g)／(A)(薄口醤油…大さじ1、砂糖…大さじ1、出し汁…大さじ3)

作り方

- 一塩魚の塩抜きをしありに大きめに切る。
- 油揚げは、熱湯を通して油ぬきせん切りにする。
- 大根・にんじんは竹製のおろし器でせん切りにおろし、油をひいたフライパンでさっと炒める。②と魚を加えてさらに炒め、(A)の調味料を加え、酢をふりかけて手早くまとめる。
- *魚の生臭みを嫌うときは、魚だけ別に炒めてから、他の材料の炒めたものとまとめるよ。



●山芋のおとし揚げ

昔、年貢米と一緒に奉納されていた山芋は、住民の信仰の対象とされていた。自然薯(じねんしょ:自生したもの)と長芋(畑で栽培)の二種類がある。

夏、淡黄白色の花をつけ、丸い実(むかご)を実らせる。秋に、纖維がち密であくの少ない良質の山芋が風味豊かに成長する。「三年いも」と呼ばれるものが最も良質で、郷土の菓子「かるかん」の材質となる。他にビタミンCの供給源となることも喜ばれている。

◇材料(4人前)

・山芋(自然薯)…200グラム	・揚げ油	・きくらげ
・もみのり	・ごま	・ピーナッツ
・塩		

◇作り方

- 山芋はすり鉢(フードプロセッサーでも可)ですりおろし、はしでよく混ぜる。(好みで、ごま、ピーナッツ、きくらげなどを入れても可)
- 揚げ油を熱し、①の山芋を一口大にちぎって入れ(スプーンを使うと便利)、きつね色になったら取り上げ、塩をふりかける。また、好みでもみのりをふりかけるのもよい。

*作り芋を使う場合は、水分が多いので片栗粉小さじ2と、塩ひとつまみ加えるとよい。

教育

スポーツ少年団王国鹿児島



女子も負けていません。気合いをこめてのこて一本。



礼に始まり、礼に終わる剣道。
防具をつけるといっそう気がひきします。



武岡台高校3年
緒方 隆一さん

——スポーツ少年団の魅力について教えてください

「武岡剣道」に入ったのが中学一年生の時でした。夏場の練習はなかなかつきつかぬがめで、何回かめげそうになりましたが、その都度、友人が家に迎えにきてくれたので(笑)、ここまでこれました。

小学生と練習していく、よいところは、日頃は大会に向けて勝負に走った練習をしてしまっているんですね。彼らと一緒に竹刀を握ることで、本当の剣道のおもしさを取り戻すことができるところだと思います。剣道は長く続けることのできるスポーツなので、できればスポーツ少年団の指導者になります。今後も続けられればと思います。

——本当の剣道のおもしろさを取り戻すことができる



上級生が下級生の指導を。
脈々と生きつづける、鹿児島の教育。



上手な子も初心者も一緒に素振り。
回数などはそれぞれの体力などに応じて自由。



武岡小学校5年
上門 ひとみさん

——剣道をしていて楽しいことは。

小学2年生の時から、「武岡剣道」に通っています。練習ではおにいさんから、手くびの使い方とか教えてもらっています。一番楽しかったのは、今年の夏、錦江湾公園にキャンプに行つたことです。わざわざ行ったり、みんなでカレーを作りました。食事は全部おいしかったです。キャンプがんばつていきたいです。

☆スポーツ少年団データ編

鹿児島県はスポーツ少年団数が全国で第三位。(1,728団)

鹿児島市では指導者が千四百四十一人。

市内で十九種目、三百三十一団のス

ポーツ少年団。団員数が何と八千三百十

八人。その大部分が小学生。ちなみに市

内の小学生数は約四万人なので、小学生

の五人に一人はスポーツ少年団に属して

いることになる。県下でのデータでは、

小学生低学年の加入率が15%、小学生高

学年の加入率が39%と更に高い率にな

っています。

鹿児島市の団員数は八千三百十八人。

人気種目はサッカー／その他十八種目み

んな頑張っているよ。

市内の少年団の人気種目はサッカー。

約25%の子どもたちがボールを追つて汗

を流している。団員数でいけば、順次、

ソフトボール、空手道、バレー、

バスケットボール、バドミントンとなる。

団員数は少ないが、弓道、カヌー、ラグ

ビーに取り組んでいる子どもたちもいる。

女子の少年団の加入率は約三割。人気が

あるのが、バレー、ボル、バドミントン。

合計十九種目。みんな一心に頑張ってい



武岡剣道 指導者 義成さん

——スポーツ少年団の指導者になったきっかけは?

地元の子は地元の有志で強く感じますね。気持ちを育てるという地元の有志で強く感じますね。

「エー、ヤツ」氣合のこもった声と、竹刀を打ち合う乾燥した音が館内にこだまする。武岡小学校の講堂で剣道の練習に励むスポーツ少年団「武岡剣道」のみならんである。スポーツ少年団は、本市内で三百を超える団数と八千人を超える団員数にまで成長している。全国の都市でも有数のレベルである。「武岡剣道」のみなさんにお話しを伺いながらスポーツ少年団の魅力と、鹿児島での発展の原因を考えた。

教育 鄉中教育

——郷中教育とはどんなものだつたんですか。

もありますが、長い間を通じての鹿児島の青少年教育の基本となり、西郷さんや大久保さんなど多くの鹿児島の人々の行動規範となつたことは間違ひありません。

A traditional Japanese portrait of Oda Nobunaga, showing him from the waist up. He has a long white beard and mustache. He wears a dark green courtly robe (kariginu) with a wide white sash (obi). The sash features a large circular emblem, likely the Kaga no mono (Kaga symbol), which consists of a central circle with a diagonal cross. He also wears a black cap (kasa) with a small white emblem on the front.

新納忠元肖像画

前ページで見た「スポーツ少年団」。その特徴を見ていくと、地域の子どもは地域で育てる・先輩が後輩を教えるが挙げられる。

そこで、思い浮かんでくるのが鹿児島独特の教育法である「郷中教育」。スポーツ少年団の特徴と酷似している。

鹿児島でのスポーツ少年団隆盛の基と、鹿児島の気質を郷中教育をさぐりながら考えていいきたい。

では、郷中教育とはどのようなものだつたか、地域公民館講座で薩摩の歴史の講師をされている川村純二さんに聞いてみました。

A black and white portrait of Kawai Jun'ichi, an elderly man with glasses and a striped shirt.

川村 純二さん

——郷中教育はどのようにして生まれたのですか。

こういつた理念の元、各地域で青少年を集めて士道を鍛練する組織をつくりました。これが原点となり、幕末期になると、鹿児島城下で三十六の郷中になるまでに成長していくことになります。

——最後に、「郷中教育」を現代に生かすとすれば、どういう点が挙げられますでしょうか。

まず、良くない点を挙げると、セフト主義ということですな。「郷中の者以外の連中とは打ち解けて話しかけるな」なんてのはひどいですね。

そして、郷中と他の郷中が競争をする時には喧嘩になつたりするんです。実はかく言う私も少年時代、昭和初期の頃で、加治屋町の二松学舎といふ郷中教育の流れを引く学校に通つていきました。その当時私は平之町に住んでいて、二松学舎に行くのに現中央高校の前を通らなければならぬのですが、隣の学舎の子からいじめられるんですね。それで遠回りをして学舎に行つてましたね。まあ、私自身もこの構造は言えませんが、よその学舎の子に悪さをしましたから、あいこなんですけどね（笑）。

二才咄格式定目

一、第一武道を嗜むべき事
一、兼て士の格式油断なく、穿儀致すべ
き事
一、万一用事に付きて咄外の人に参会致
し候はば、用事相済み次第早速罷
帰り長座致す間敷事
一、咄相中何色によらず、入魂に申合
せ候儀肝要たる事
一、朋党中無作法の過言互に申し懸けず、
専ら古風を守るべき事
一、咄相誰人にも他所に差越し候節、
その場に於いて相分ち難き儀到来致
し候節は、幾度も相中得と穿儀致し、
越度無レ之様働くべき事
一、第一は虚言など申さざる儀士道の本
意に候条、専らその旨を相守るべき事
一、忠孝之道大形無レ之様相心懸くべく
候。然しながら迷れざる儀到来候節
は、其場おくれを取らざる様相働く
べき事、武士の本意たるべき事
一、山坂の達者は心懸くべき事
一、二才と申者は、落鬢を斬り、大りは
をとり候事にては無レ之候。(諸事武辺
事、第一の二才と申者にて候。此儀
は咄外の人絶えて知らざる事にて
候事)

今の少年たちは、まず異年齢で何かすることがまずないですよね。それに何か新しいことには全てマニュアルがついてますし（笑）。ある面では一人前のおとなとして何かを思い切ってまかせてみたりすることも必要ではないかなと 思います。

それから良くないことも一つは価値観の自由がなかつたこと。長老（おせき）の言うことには、「議を言わずに」従わねばならなかつたことかな。そもそも郷中教育の目的が、戦いに出て指揮官の言うことに素直に従い勇敢に戦う兵隊をつくることにありましたからね。やつと良い点に入りますが（笑）、まず一つ目は、自己鍛錬です。「物事をあげて」というな「公私のけじめをつける」などでしょつか。例えは大久保さんが若い頃、夜通し歩いて妙円寺参りに行きます。大久保さんがつけていた日記で判るんですね。帰宅したら、寝るひまもなく、役所づとめです。さすがに大久保さんは疲れていますが、役所で同僚に「きのう妙円寺参りで夜通し歩いたので疲れて」とは言いません。弱音を吐くなと郷中教育で徹底されていたのです。また、ある時、書を読んでいたらはえが頭に止りました。思わず追い払つたら先輩に叱られます。「書を読むというは、行政という公のためにするもの。その時にはえを追うという私事を行うとはなんたることか！」このような郷中教育の自己鍛錬が、後

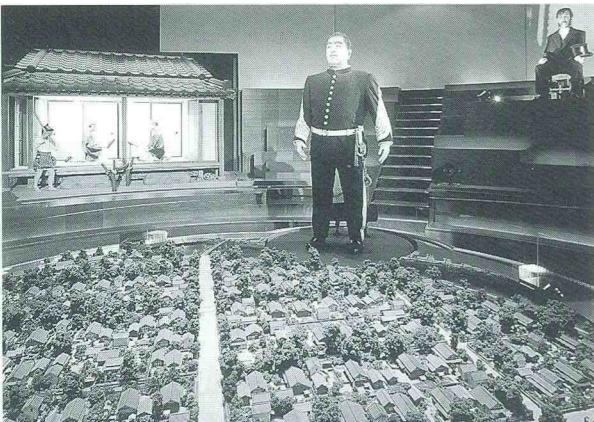
年の強い信念をもつた清廉な政治家大々保を創つていつたんだろうと思います。時代に逆行するようですが、内に強いものを秘めた人々のことではへこたれがない若者を育てる教育をもつと考えてよいのではと思ひます。

年の強い信念をもつた清廉な政治家大久保を創つていつたんだろうと思います。時代に逆行するようですが、内に強いものを秘めた少々のことではへこたれないと若い若者を育てる教育をもつと考えてよいのではと思ひます。

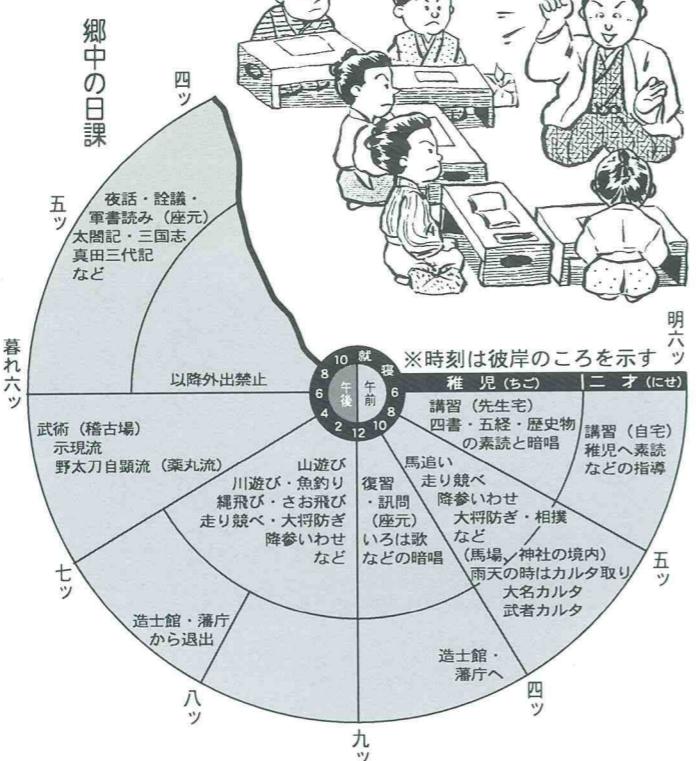
それから、もう一つが「年齢相応の自覚」でしょうか。現在は若者のモラトリー化が進み、社会的な責任においては子どもでいたいという若者が増えていく、という話です。郷中教育においては年上の者が年下の者を指導します。

書・五経の素読（注釈）や、武術・相撲などの指導を初め、生活全般に渡り面倒を見ていきます。

特に当時は、元服を済ませると一人前と考えられていました。しづくれば切腹の事です。そういう死生離別の中での自分の言葉や態度というのは、非常に重い意味がありました。その二つが合わ



西隆・大久保が育った下加治屋の街並み(維新ふるさと館 体感ホール)



薩摩の武士社会に物
泣こかい、とぼかい、とべー
泣こよっかひつと

薩摩の武士社会に物申す

私の家は幕末の頃から高麗町近辺で、酒屋をやっていました。私の小さい頃亡くなつた祖父の話では、薩摩のさむらいというのは相当いばつていたらしいです。酒とかけ米を買っても、すぐにはお金を持つてくれない士族もいたらしいですよ。その内、明治十年の西南戦争では代金未払の士族はみんな「名誉の戦死」を遂げてしまい、店は焼けてしまふで大変だったたといふことです。

多くの偉い人が出来ましたがその陰では、苦労した百姓・町人がいたことを忘れないでほしいですね。

高麗町 68歳 男性

薩摩の武士社会に物申す
私の家は幕末の頃から高麗町近辺で、
酒屋をやつっていました。私の小さい頃亡
くなつた祖父の話では、薩摩のさむらい
というのは相当いばつていたらしいです
ね。酒とか米を買つても、すぐにはお金
を払ってくれない士族もいたらしいです
よ。その内、明治十年の西南戦争では代
金未払の士族はみんな「名誉の戦死」を
遂げてしまい、店は焼けてしまうで大変
だつたということです。
多くの偉い人が出ましたがその陰では、
苦労した百姓・町人がいたことを忘れない
でほしいですね。

CLOSE UP

クローズ・アップ

子どもたちが家庭や学校、地域で生き生きと輝けるためにー。
垣根を越えて一緒になるべくとする
親と教師の“掛け橋”役は、5月5日生まれ。
誕生日の偶然が「必然」になり、
子どもの「居場所」を求めて奔走する。

「いきいきネット」は、そんな親と教師がお互いに本音で話し合おうと昨年十二月に発足した。子育てや教育の悩みを抱える市民や教師、障害児の親ら約八十人が集い、「子どもたちにもっと生き生きとのんびり育つ居場所や条件を」という熱い思いをつなぐ。情報紙の発行や講演会、シンポジウムの開催のほか、教育相談や行政への提言もする。「子どもの権利条約が発効して二年以上たつのに、子どもたちを取り巻く状況は悪くなる一方。さまざまな人たちが知恵を出し合って、解決への糸口を探りたい」。

学生時代、サークル活動で訪れた無医村地区で地域医療の命題を投げかけられた。大阪での研修医時代にも、医療と地域・社会とのかかわりに直面する。「大気汚染による多くのぜんそく児に接して、医者が病院で患者を見るばかりではだめだと。企業や大人の責任を痛感しました。そのころ痛切に感じた「子どもの健康を守れる医者になりたい」という思いは今、さらに多彩に全面展開する。

文部大臣の諮問機関、教育課程審議会がこの夏、十一年ぶりに発足した。学校週五日制の完全実施に向けて教育課程の全面見直しを進める。「教育の指導要綱なども勉強して、教育の流れをしっかりと学んでいます」。親も怠惰ではないのだ。「親は教師からもいろんなことを学んで」。

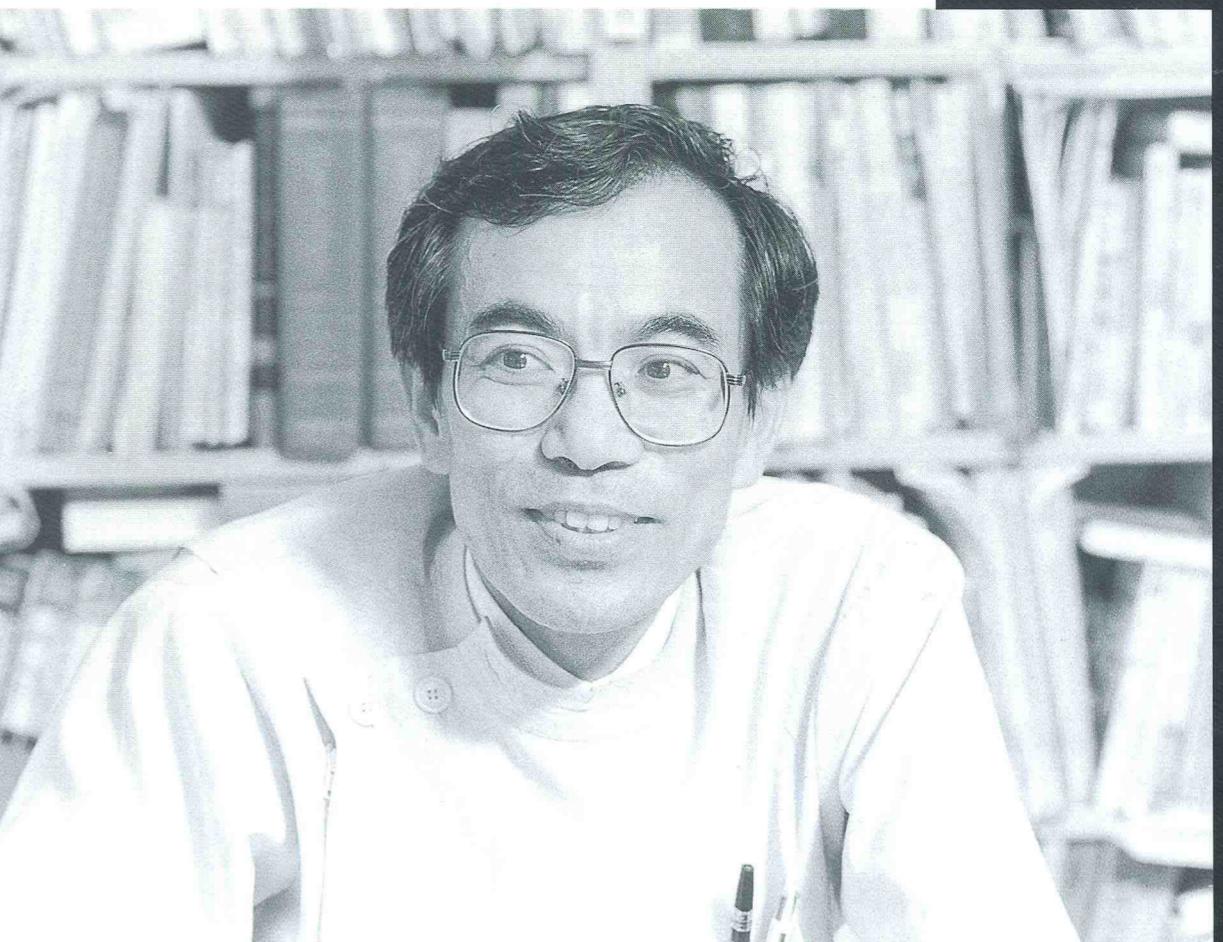


年間四回ものフルマラソンに挑む。半端ではない。昨年の宮崎太平洋マラソンでは「念願だった三時間」を初めて切ったが、タイムにこだわってはいない。「健康マラソンです。楽しくゆっくり走ることがひとつ。失敗を気にしないで走ること」。子どもの問題も同じことのようだ。

「五年、十年単位です。学校現場だってスパッといきません」。柔軟な語り口。豊かな包容感。スリムな容姿にタフさと粘り強さを秘める。

発足総会のディスカッションには、小学校時代に不登校を経験した大学生も加わった。今秋の総会では、子ども自身の本音をさらに聞ける機会を作りたいと願っている。「子どもが自分の親にはなかなか話したがらないなんて、うちもそうですよ」。内情を“暴露”する松下さんに、さらに親しみと信頼感が強まった。

(鹿児島新報社報道部・知覧哲郎)



いじめや不登校は、現代社会における「父性」の不足が深く関係しているという説がある。解決には父親の役割も重要な声も強い。そこである日、子どもの学校へ行ってみる。授業参観にPTA、父親セミナー。だが、学校の先生と話すための機会も何か物足りなさを感じてしまうのはなぜだろう。自らの怠惰をさておいて、学校や教師に感じる靴搔痒の感…。

「でも、それは先生の側も同じなんですよ」と松下さん。「六年前ごろから、鹿児島の子どもの教育を考える自主的な教師の集まりがありますね。いじめや不登校などの問題を考えるには、学校の先生ばかりではなく、親の本音や地域の人々とのつながりも必要だ、という強い要望が出てきたんです」。「いきいきネット」を必要としたのは、むしろ教師の側だった。

「子どもがいきいき地域もいきいきネットワーク」
代表

松下 賢治

昭和25年 佐賀県鳥栖市生まれ
大口、隼人で育つ
昭和50年 鹿児島大学医学部卒業
昭和54年 鹿児島医療生活協同組合勤務
平成6年 鴨池生協クリニック勤務

学校探訪

花と緑と潤いと
歌声いっぱいの西谷山小



「宇宙へ羽ばたけ」未来のロケット博士たち



「楽しいな」図工の時間



全力で!

学校の周りは自然の宝庫



10月27日
「谷山ふるさと祭」に参加します

希望大きく燃えて立つ学校に！

六年 日名 啓子

私たちの通う西谷山小学校は、谷山の西側にあり、豊かな自然に恵まれた開校十九年目の新しい学校です。近くに水のきれいな永田川が流れ、谷山氏の居城だった千々輪城跡が私たちの校区を見守ってくれています。

私たちの学校の自慢はたくさんありますが、特に次の三つを紹介します。

一つ目は、全校で一人一鉢を育て、花と緑いっぱいの学校です。一年中いろいろな花が咲きほこり、私たちの心をなごませてくれます。今は、ポーチュラカやサルビアなどの花がきれいです。

二つ目は、社会奉仕活動です。校外へ出て、通学路

や緑地帯のごみを拾ったり、永田川クリーン作戦で親子そろって川の清掃をしたりします。自分たちの郷土や学校を自分たちの手できれいにしようと励んでいます。

三つ目は、スポーツや音楽がさかんです。少年団活動や金管バンドの活躍がめざましいです。運動会やあいご会の行事にも進んで取り組み、自分たちの手でもり上げようとはりきっています。

「強く正しく やさしく 助け合う子」の校訓を目指にして、せいいっぱい活動しています。

これからも、全員が力を合わせ、歴史を築きながら、すばらしい学校づくりをめざしてがんばっていきたいと思います。



西谷山小学校

●創立 昭和53年
●児童数 781人
(平成8年9月2日現在)



8月15日 第二次世界大戦戦死者慰靈祭

終戦記念日の8月15日に城山公園内の探勝園で慰靈祭が行われました。

遺族や関係者、児童代表など約三百人が参列し、戦争で亡くなった方々のめい福を祈るとともに、平和の尊さを改めて胸に刻み込んでいました。



8月18日 クリーン・シティー鹿児島の日

8月16日～21日のまちをきれいにする運動強調週間のうち、8月18日に全市一斉の清掃作業が行われました。早朝、辻々に町内会や団体ごとに市民が集まって清掃開始です。その数1,740人、収集したごみは7トンを超みました。身近なまちをきれいにする心の輪、ますます広がっていって欲しいですね。



8月31日～9月10日
第10回長才まつり

高齢社会についてみんなで考えてふれあう長才まつりが開かれました。今回のテーマは「心豊かな人生」。シンポジウムやふれあいスポーツ教室、ゲートボール大会、三波春夫歌謡ショーなどを通じて、高齢世代も若い世代もお互いの交流を図っていました。市民みんなが健康で充実した日々を送ることができればいいですね。



8月6日

'96かごしま観光振興のつどい

鹿児島の観光についてみんなで一緒に考える観光振興のつどいが開かれました。村松友視さん（作家）による講演や観光功労者などの表彰のほか、8年振りに鹿児島市の観光キャッチフレーズが新しくなりました。

「旅日記“いい日”と書いた鹿児島路」

CAMERA TOPICS

6月25日 外国人留学生への図書券などの贈呈
鹿児島で勉強している留学生を励まし、また、鹿児島をもっとよく理解してもらうために、24か国、172人の外国人留学生へ、図書券と共通回数乗車券を贈呈しました。市民とのふれあいの機会を広げ、さらに友好の絆を深めてもらいたいですね。

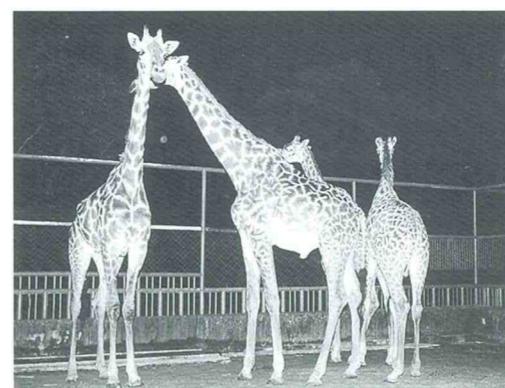


7月10日 磯海水浴場の海開き

今年も7月10日、磯海水浴場が海開きました。

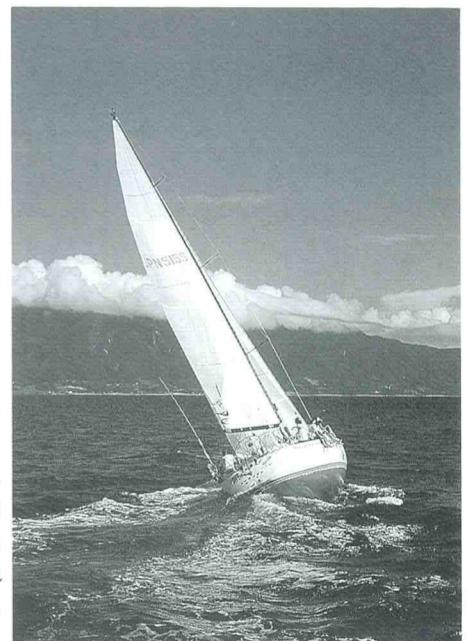
歓声を上げて水しぶきの中、海に飛び込んでいく子どもたち。

真っ黒に日焼けして、楽しい思い出と多くの友達を作ったことでしょう。



夏休み期間中の毎週土曜日
平川動物公園の夜間開園

首のながいキリンはどんなふうに眠るのか、昼間寝てばかりいるコアラは、夜もやっぱり寝ているのか。気になる動物に会いに多くの子どもたちが動物公園の夜間開園にやってきました。午後九時までの開園時間いっぱい、多くの懐中電灯とにぎやかな動物たちの声（？）が絶えませんでした。



7月19日～24日
'96鹿児島カップ火山めぐり
ヨットレース

今年で9回目を迎えた、火山めぐりヨットレース。

桜島と波きらめく錦江湾、その南に連なる火山の島々を舞台に、壮大なスケールでレースが繰り広げられました。マリンスポーツの夏を彩る風物詩としてすっかり定着したと言えるでしょう。



ハロー鹿児島

李 洪川さん

李洪川

(中国 重慶市)

「私は明るい日差しの南の町が好きなんです。だから鹿児島の街をとても気に入っています。」と朗らかに笑う李洪川さん。

李さんは、中国の重慶市の出身の医師。重慶医科大学で学び、母校で教壇に立つた後、留学生として平成五年十月に鹿児島へ。以来約三年間、鹿児島大学医学部のウイルス学教室で遺伝子の研究を続けています。そのかたわら、今年は、鹿児島大学留学生会の会長をつとめています。

留学生会の会長として実感するのには、異文化の中での生活にはその土地の人々の理解と協力が必要であることを強く感じますね。」

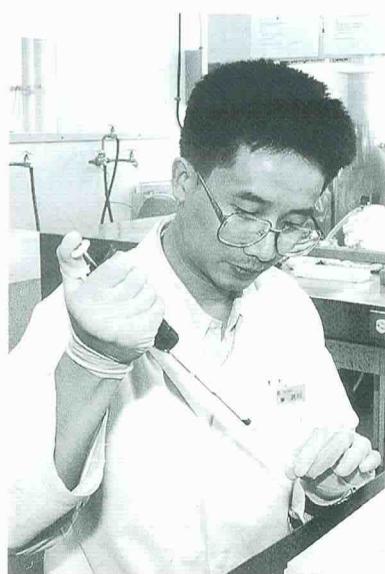
三十九か国から約三百三十人の留学

生。代表として気苦労も絶えないと思われますが、「そんなことないです。みんな友好的なので、私も喜んでできるだけのことをしたい。」とっこり。

さて、李さん自身の留学生生活は? 「教授をはじめ医学の国際化に理解の深い人たちと研究できることは、とても幸せです。トップレベルの理論と技術をしつかり身につけたいですね。」

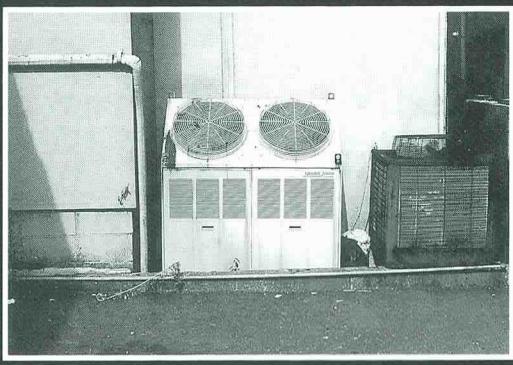
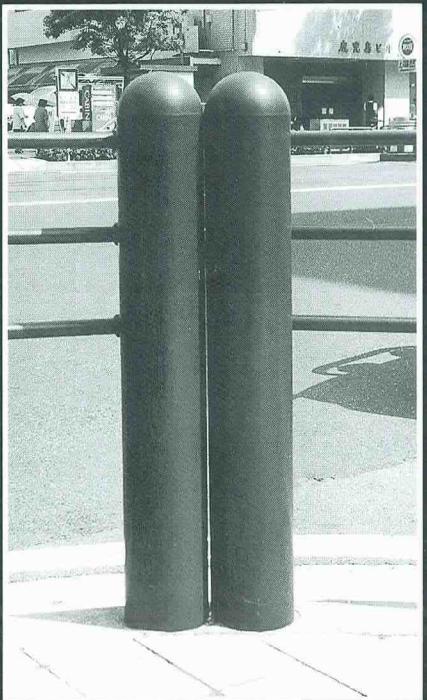
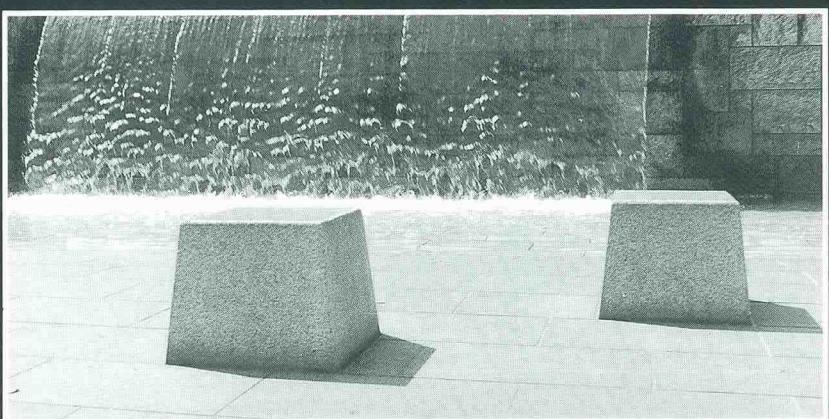
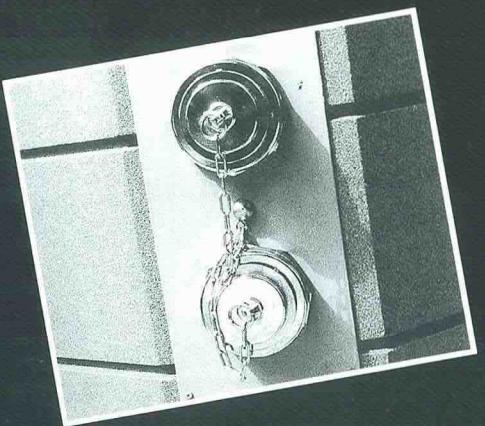
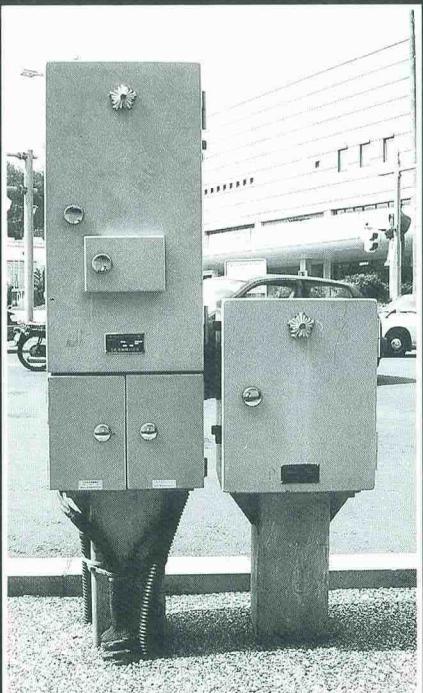
李さんの研究は、中国ではまだ着手されていない白血球の分野です。ふるさとの発展に貢献したいといつも考えているとのこと。

意欲に燃える青年医師。平成十一年四月の帰国までに、たくさんの友人をつくりたいと、最後に語ってくれました。



CITY ANGLE

シティーアングル



街かどのふたり

聞こえます！ 思い出のハーモニー

鹿児島県合唱連盟顧問
貫見 進一郎さん

私の好きな場所



●寺山（吉野町）

この寺山には、いろいろな思い出がありますね。昭和十五年、私が師範学校の一年生のときに、この寺山に二泊三日の開墾作業に来たことがあります。ちょうど梅雨明けの七月と秋口の二回、藪をはらつて開墾してサツマイモの植え付けをしました。当時は、肥料がなくて、自分たちで背丈ほどの穴を掘つて、底の土と表土を入れ替えて肥料にしました。その作業のことを「天地返し」と呼んでいましたね。

●天保山

そうそう、この寺山に来るときには武の師範学校

から手車を引いて来たんですよ。今では想像できませんけどね。手車には山鍬などの道具や食料となるニワトリ、米、味噌などを積んで…。重かつたけど、上り坂をみんなで力を合わせて、汗を流しながら登つてきました。なつかしいですね。

この寺山には、師範学校の宿舎があつて、そこで寝泊まりしました。そこは今では鹿大の施設となつてているようです。苦労して持つてきただいた米を五升炊きの水がまで炊いて、持つてきただいたニワトリをつぶして食べました。炊飯などに使う水は、この下の水源地まで汲みに行きました。この寺山を開墾した西郷南洲翁の開墾地の碑があるところですよ。「水つてこんなに重いのか」って思いましたね。

また、今の展望台がある所が朝の体操をする場所でした。私は起床ラッパの係で、朝の五時半になると力いっぱいラッパを吹き、それを合図にみんなで体操に出かけたものでした。今のような道はなく、敷をかき分けながら進むと、この寺山を開墾した西郷南洲翁の開墾地の碑があるところですよ。「水つてこんなに重いのか」って思いましたね。



あっちの堤防付近で合唱の練習をしたものです
～天保山公園にて



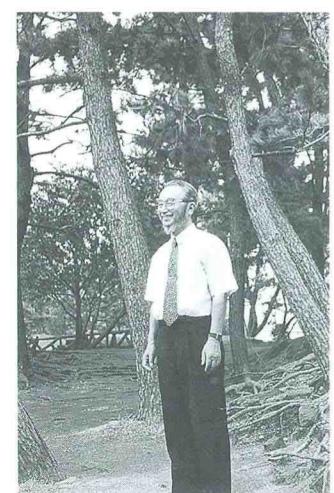
取材メモ

教壇に立つたわら、昭和四十年からは県合唱連盟理事・事務局長・理事長を歴任されています。

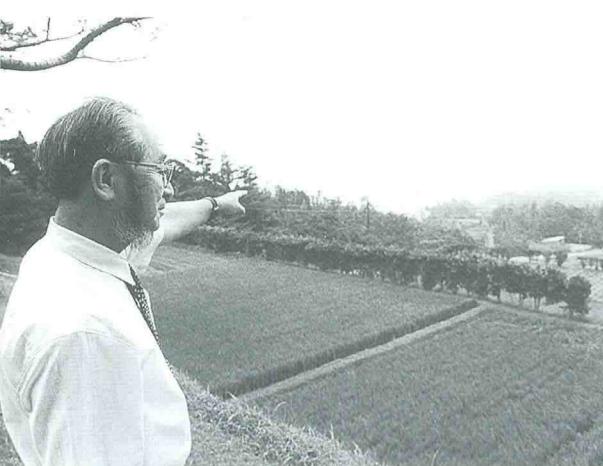
昭和四十六年、ウイーン留学をしたときから伸ばし始め、今ではすっかり貫見さんのトレードマークとなつてゐる『ひげ』。『ウイーンの床屋さんのひげそりが痛くて、しようがなく伸ばし始めたんですよ』と笑つて説明してくださいました。

取材中、なつかしい話の合間にジョーク、そして歌や草笛など織りまして、たいへん楽しい時間を共有させていただいたのが印象に残ります。

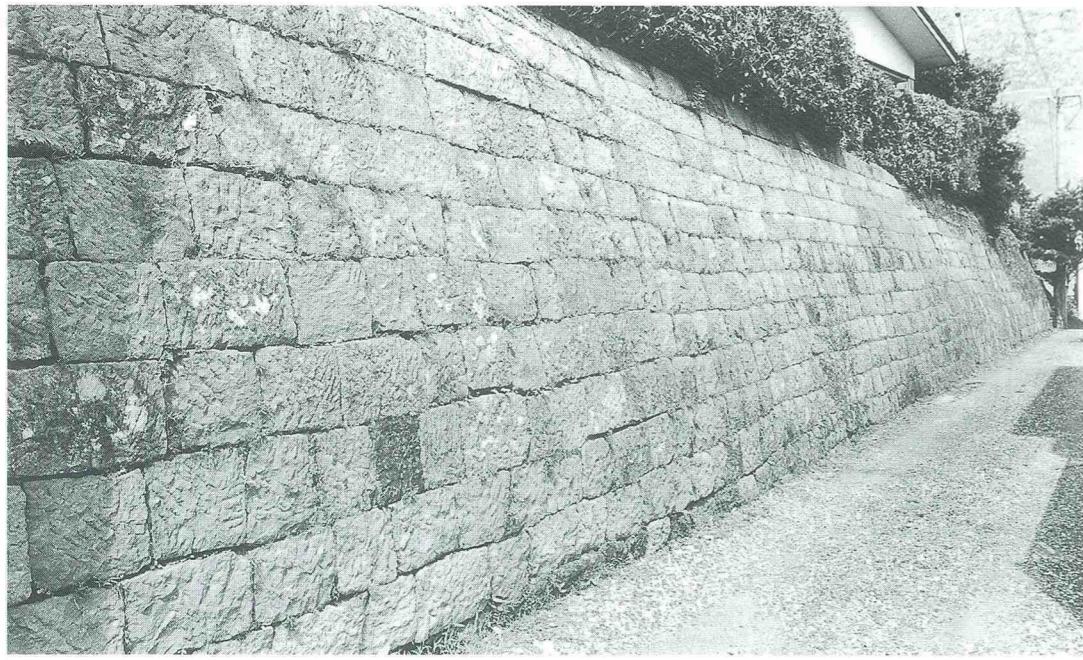
現在、六つの合唱団・グループの指導にあたる多忙な日々を過ごす一方、趣味のイカ釣りに精を出します。鴨池港周辺が、お気に入りの釣り場とか。これまで、全日本合唱連盟表彰、MBC賞、南日本文化賞をはじめ、多くの賞を受賞されています。



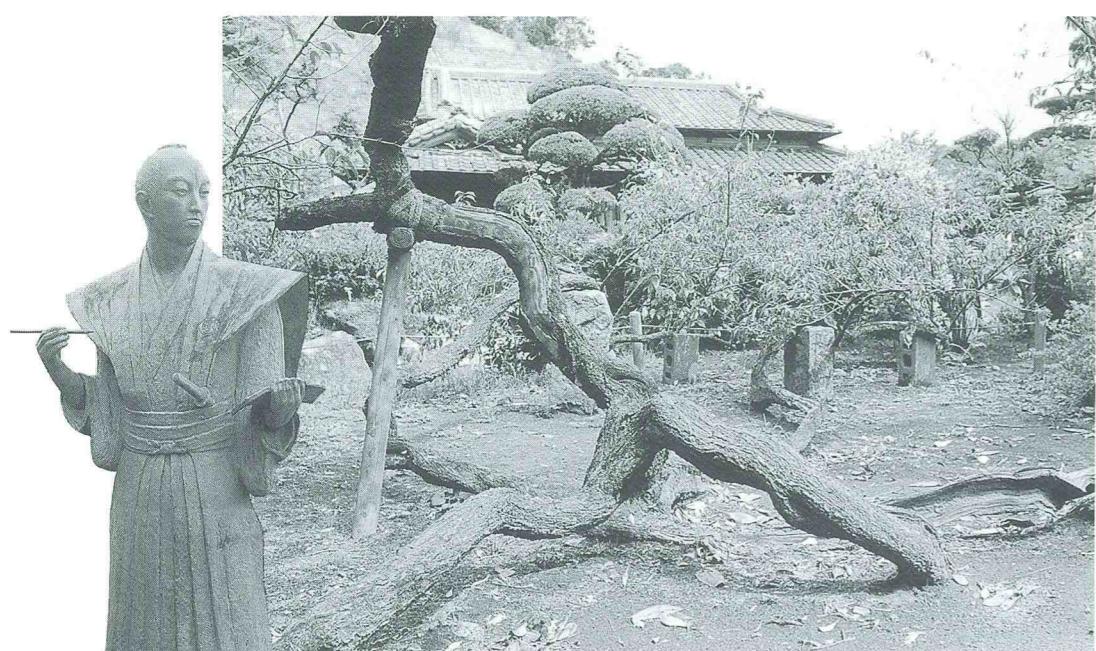
静かな松林、いい雰囲気ですね
～天保山公園にて



この下の畑をつくったんですよ
～鹿大教育学部附属寺山自然教育研究施設近く



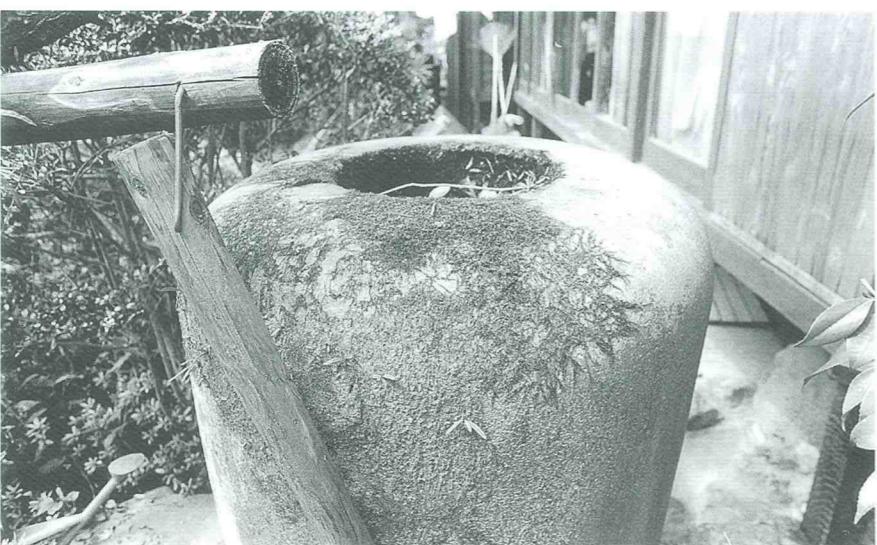
「小松帶刀下屋敷跡」の石垣



「臥龍梅」



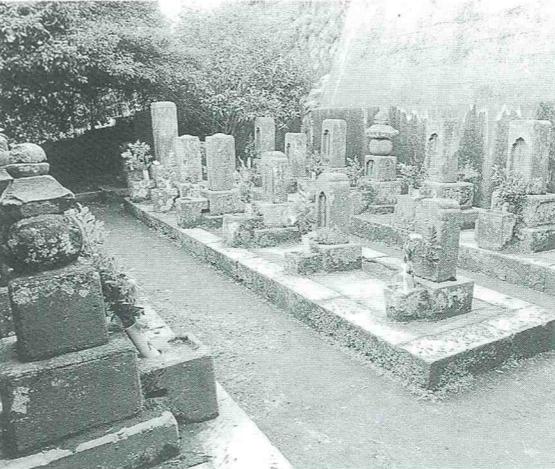
「小松帶刀像」



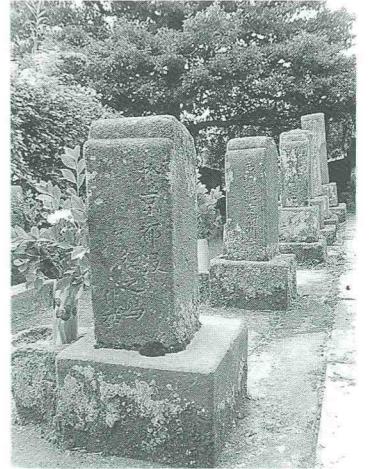
「手水鉢」

歴史探訪

ふるさとの
明治維新に活躍した
薩摩藩の家老
こまつたてわきしも やしきあと
「小松帶刀下屋敷跡」



西郷家墓地全景



家僕徳之島の仲祐の墓



「西郷隆盛祖先之墓地」

現在、県文化センターに建っている「小松帶刀像」の東側で、東郵便局から県林業会館あたりであった。下屋敷跡は現在、平川至道氏宅となっている。樹齢三百といわれる「臥龍梅」があり、春には見事に満開する。また、縁側先には、立派な「手水鉢」も残っている。慶応二年（一八六六年）三月十日、土佐の浪士坂本龍馬が新妻お龍と共に鹿児島を訪れた時、宿泊した屋敷でもある。

帯刀は、天保六年（一八三五年）喜入領主肝付主殿兼善の三男として生まれ、二十二歳で吉利の領主小松清猷の養子となり、小松帶刀と名を改めた。子供の頃から学問や武芸にすぐれ、二十八歳で藩の家老となり、西郷隆盛や大久保利通などの下級武士出身の若者を重要な役目につけた。寺田屋事件、生麦事件、薩英戦争をのり切り、薩長同盟を結ぶなど明治維新に活躍した。維新後も外交官として活躍、玄蕃頭（外務大臣に当る）に任命されたが、明治二年（一八六九年）五月、病氣のため、すべての官職をやめ、療養に専念したが、おしくも、翌三年（一八七〇年）七月十七日、大阪で、三十六歳という若さで病死した。墓は現在、日置郡吉利園林寺跡にある。

原良かけごしと、高い石垣の間に折れ、狭い路地を行くと、高い石垣の「かけごし」から原良温泉とが交差する「小松帶刀下屋敷跡」がある。上屋敷はこの尾畔へ移り改葬された。

さらに北上すると、左側の原良町一八〇九番地、土持泰宏氏宅の前に、文化十三年（一八一六年）の「鷹萬靈寶塔」と嘉永二年（一八四九年）の「諸禽供養塔」がある。特に「諸禽供養塔」には、鷹尾畔奉行をはじめ、御鷹匠頭・見習・御鷹部屋書役、御鷹匠世話役、御鷹餌差などが刻まれている。

昔、この一帯は鷹狩場であったといわれ、軍隊訓練や有害鳥獣駆除などのため殺された鳥や獸を祭つて建てたと思われる供養塔である。

鷹師町あたりは、藩政時代、比較的身分の低い士たちの鷹師が住んでいたから、鷹師町の名が生まれたといわれる。

「諸禽供養塔」と「鷹萬靈寶塔」



西元肇
元県文化財保護指導委員





よかタイム

YOKA-TAIMU

よかタイム 7つの質問

スタジオでの二時間におよぶ練習に同席して、そのパワーに圧倒されっぱなし。ピュアな気持ちで真剣に音楽に向かっていき姿を見ると、本業が幼稚園の先生というのも納得。子どもたちに同じくピュアな気持ちで接する様子が容易に想像できる。彼女の歌を聴いている内に、本当に音楽って楽しいな、いいなと思えてくるから不思議。まさに彼女の存在は「みんなの太陽」。

A4 Q4
バンドの魅力は?
日頃の自分とは違う自分を見つけることができるし、音楽を通してみんなと心が通じるからもう最高ですね。

A3 Q3
どうしてボーカルになつたんですか?
目立ったかったから(笑)ボーカルを希望しました。

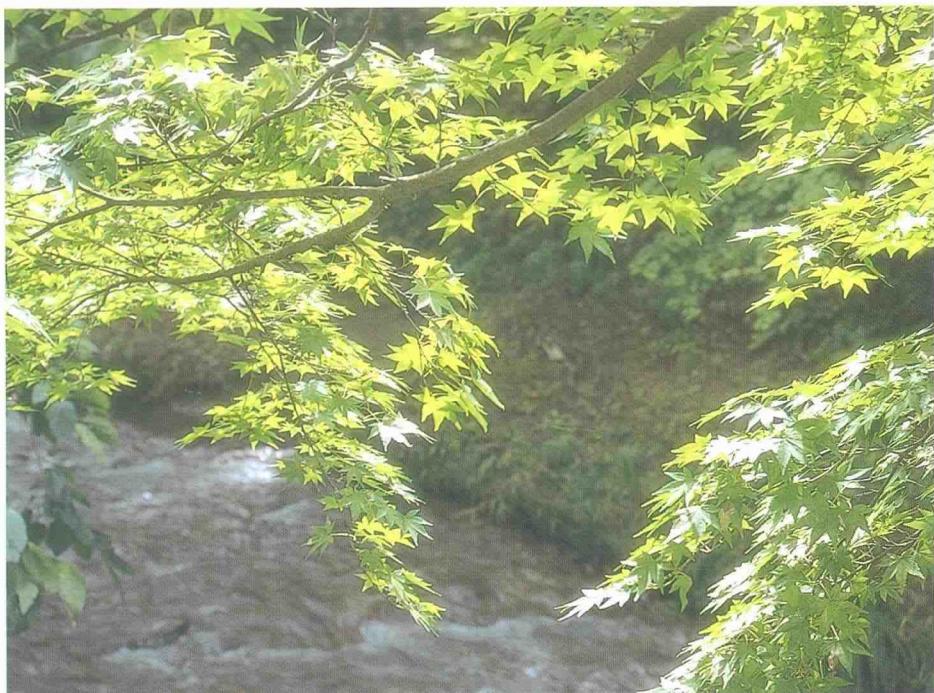
A2 Q2
何年間やっていますか?
休みが多いけれど、通算4年です。

A1 Q1
ロックバンドを始めたきっかけは?
高校の文化祭のとき、友達と何かやろうというのがきっかけで始めました。

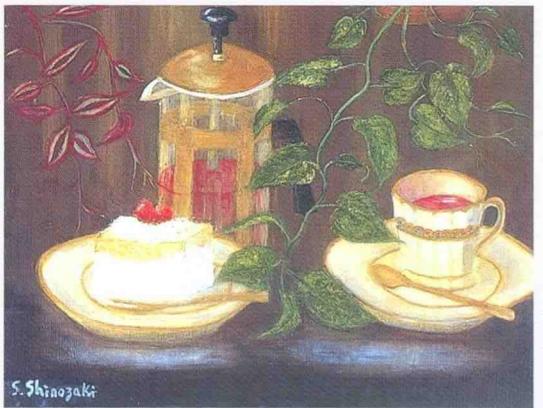
A7 Q7
これから目標は?
バンドのメンバーの中ではどんな存在ですか?
「みんなの太陽」(笑)です。

A5 Q5
女性の多いバンドですが、何か理由があるんですか?
理由はないです(笑)。男性でも女性でも一緒にバンドに集中できりばいいなと思います。

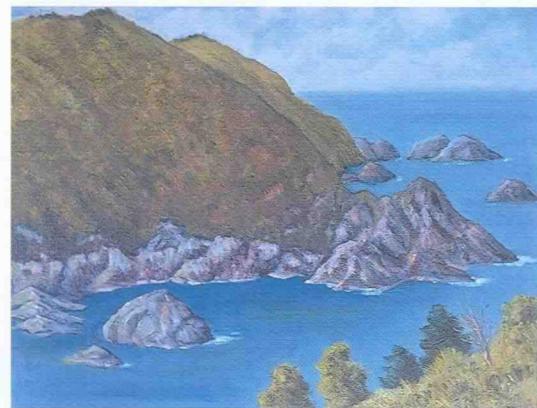
がまこしま の自然



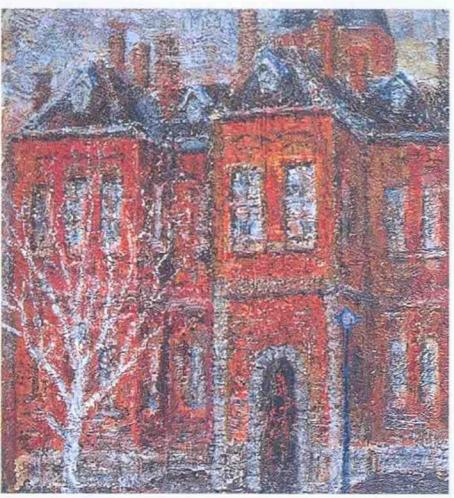
（慈眼寺公園）
自然の地形をそのままとり入れた慈眼寺公園。
園内には、岩をぬつて渓流沿いや樹木の間を歩く道も開かれていて、市民の憩いの場として親しまれています。ここを散歩するど、ひんやりとした清水のせせらぎや野鳥のさえずりなど自然の美しさにふれることがあります。



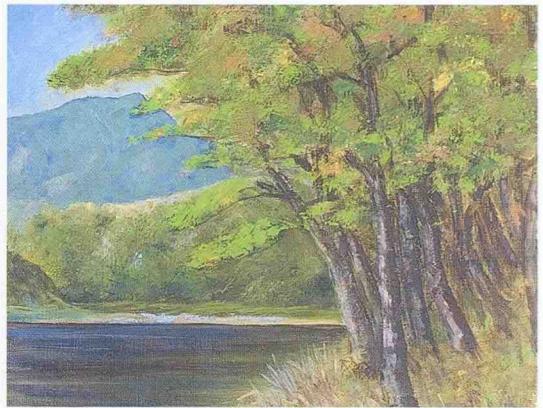
「静物」篠崎誠也さん



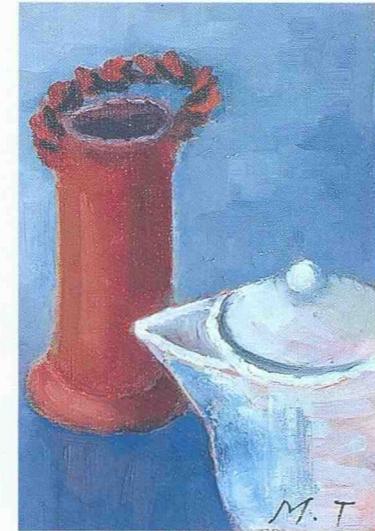
「坊ノ津」富重末吉さん



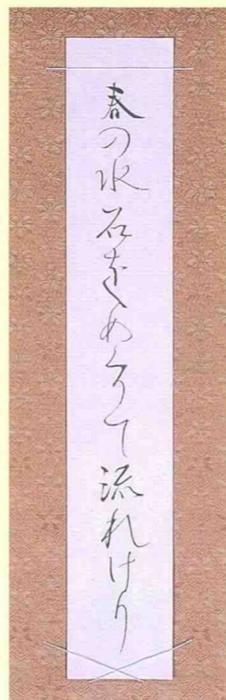
「北の館」武田潤平さん



「御池」上村芳盛さん



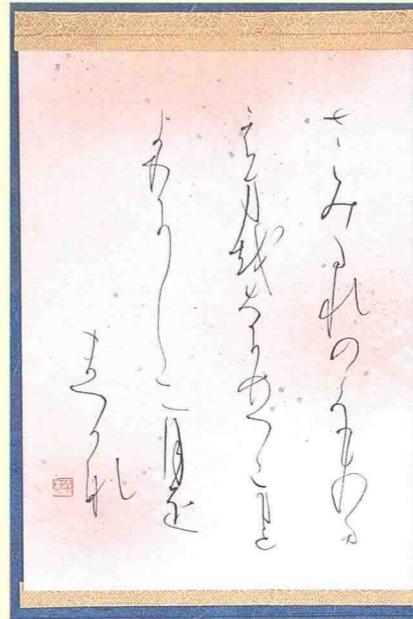
「静物」豊島三津子さん



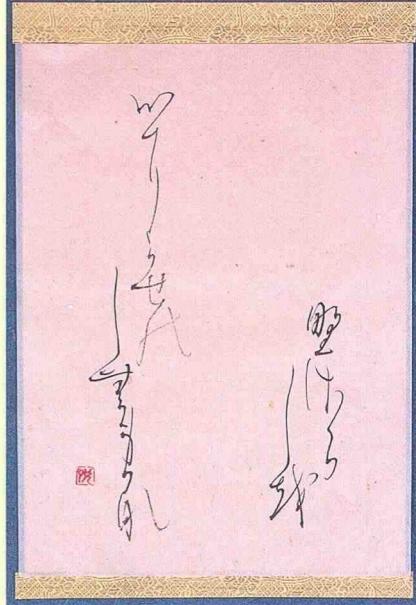
「正岡子規」吉村美智子さん



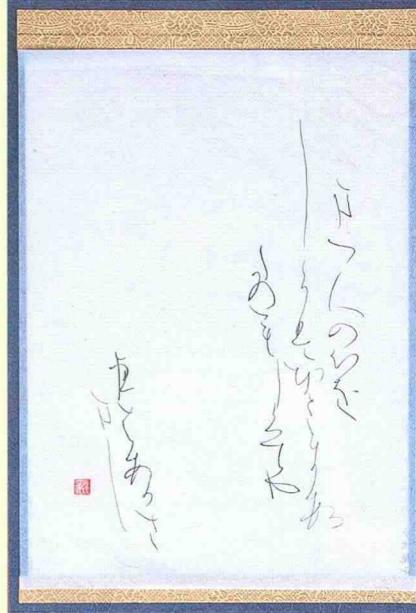
「正岡子規」青木和子さん



「新古今集」是枝エコ子さん



「松尾芭蕉」土佐悦子さん



「山家集・夏」戸次親正さん

創立二十周年を迎えた
谷山市民会館。そこで学
習する皆さんのはいき
いきと輝いていました。
皆さんの作品をゆっくり
とご覧ください。

かな書道「むつみ会」
は平成六・七年度公民館
講座の修了生三十人で、
毎月第二・四木曜日に、
下尾恵美子先生の指導の
下に学習しています。
五月からは短冊の練習
も始めました。同じ趣味
で集まつた者同志、お互
いに助け合って努力して
います。

みんなで学ぶって、樂
しいですね。
今回は谷山市民会館の
自主学習グループで、油
絵「洋画クラブ光洋会」
とかな書道「むつみ会」
の皆さん的作品を紹介し
ます。
油絵「洋画クラブ光洋
会」は創元会会員久保剛
先生の指導の下に、毎月
第一・三土曜日に活動し
ています。

COLLEGE BY

市民ギャラリー

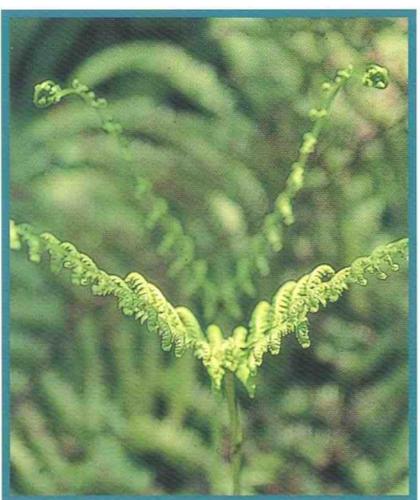
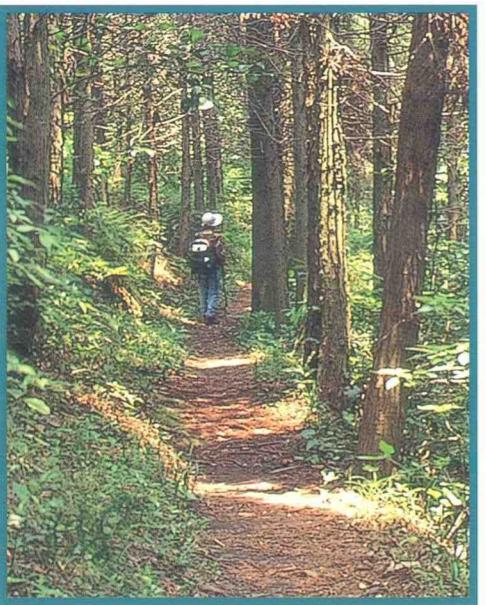
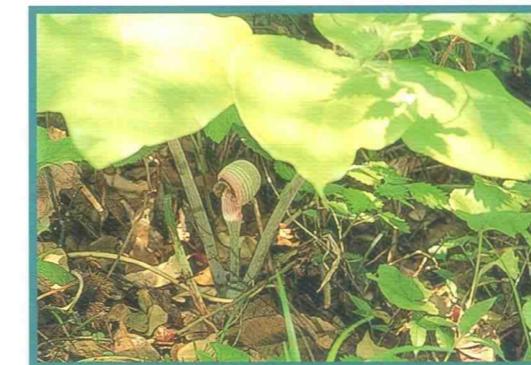
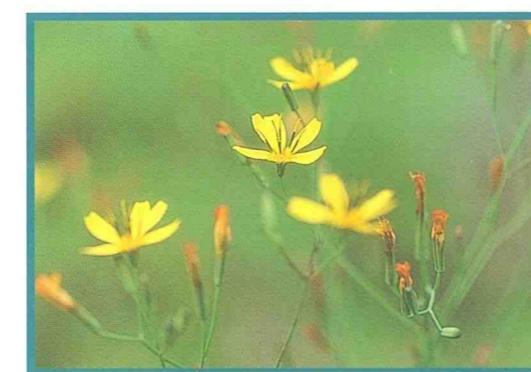
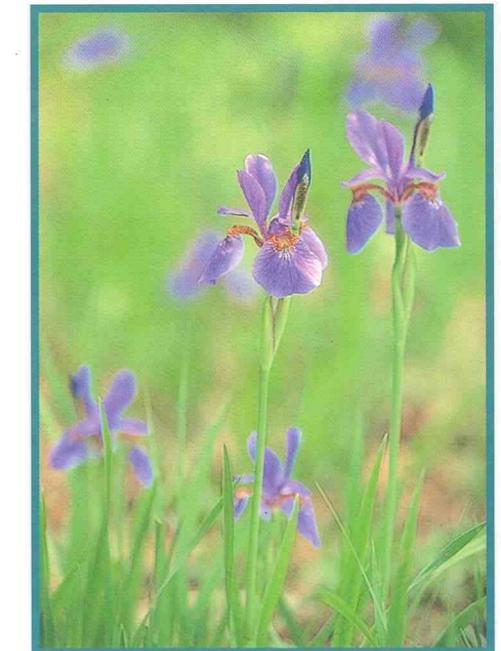
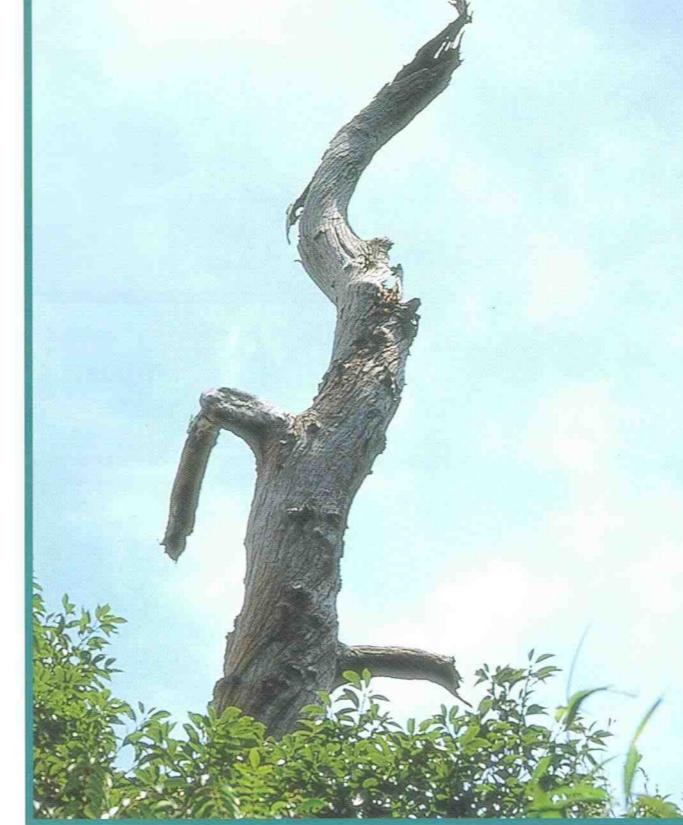
●谷山市民会館・自主学習グループ●

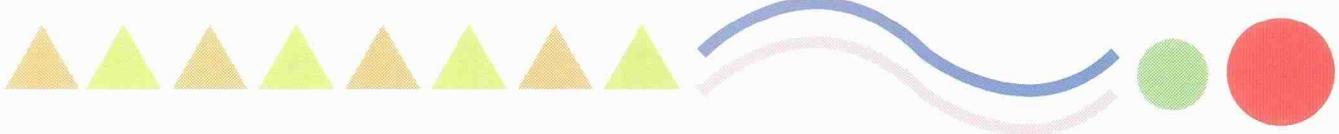
あなたのフォトサロン

写真と文 森山 正康さん

自然に親しむ

街並木の花壇に咲く花は、整然とした美しさを楽し
ませてくれますが、自然のままの土手や林の中に自生
する草花は小さくとも力強く、その姿は私たちの心の
中に郷愁めいたものを感じさせます。





はじめは、写真技術の向上と天体や観測機材の情報交換を目的に結成された「鹿児島天体写真協会」。最近は、写真撮影のほか、天文全般に関する情報交換の場として幅広く、楽しく活動しています。

現在の会員は16人。年齢・職業などはまちまち。今年の春に話題となつた百武彗星の発見者でもある百武さんもメンバーの一人で、会員のよき相談相手です。ベテランの方々の指導を直接受けられるのも、この会の特徴の一つです。

また、16人のメンバーそれぞれが、観測目標とする星や星雲があるため、個人や小グループでの活動が多くなるとか。そのため、例会では、いろいろな星座の写真や肉眼ではなかなか見ることのできない星雲・星団など、



バラエティーに富んだ写真が集まります。

『最初は、天体を望遠鏡や双眼鏡で眺めるだけでも楽しかったですね。でも、星々に興味を持てば持つほど、もっと知りたい、記録するようになりますね』とは会員の弁。

鹿児島は、上空の気流が安定しており、ゆらぎの少ないシャープな星々を見ることができます。また、南国ならではの星座も多く、光害の影響も受けずにたくさんの星々と付き合うことができます。

シーンと静まり返った夜、満天の星を眺めながら時を過ごす。皆さんも、こんなぜいたくな時間を共有してみませんか。

〔問い合わせは上田さん(県文化センター内プラネタリウム室) ⑥二三三三四二一八〕

集えば楽し

「鹿児島天体写真協会」

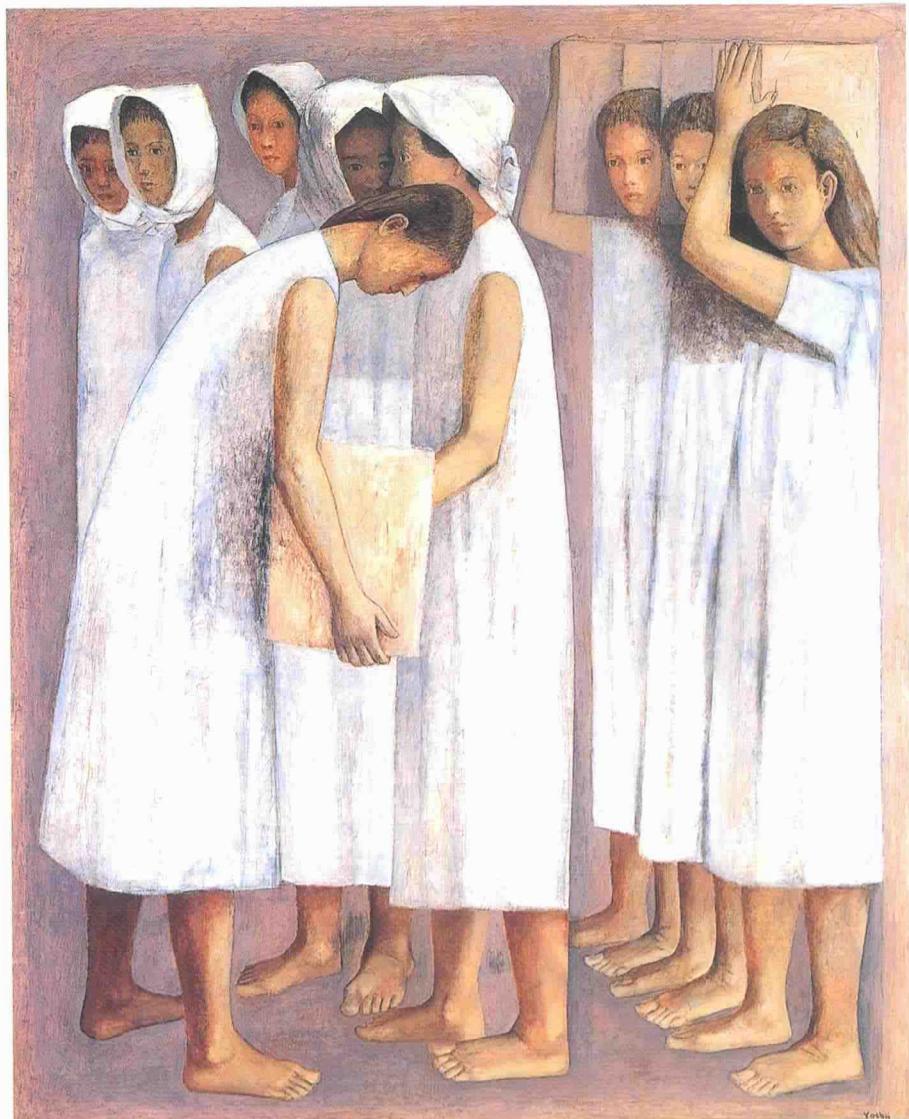
見上げる星空に
心ひかれて



市立美術館

〈女達〉
(1962)

油彩・キャンバス
サイズ 162.1cm×130.3cm



吉井 淳二 (1904~)

日本洋画界の重鎮である吉井淳二是、1904年（明治37年）曾於郡末吉町に生まれる。旧制志布志中学校時代に絵に親しみを持つようになり、絵かきになることを決める。同級生に海老原喜之助がいた。1922年に上京、川端画学校に通い、東京美術学校入学を目指す。1924年、東京美術学校西洋画科入学。和田英作らの薰陶を受け、在学中に二科展に2回連続入選する。卒業後に有島生馬との出会いがあり、3年間のフランス留学をする。パリで旧友の海老原と再会、制作に励む。帰国後も二科会を中心に活動、31歳で会友、36歳で会員となる。

戦後は同郷の先輩であり会長である東郷青児を助け、二科会の再興に参画。また、敗戦直後の鹿児島においては、南日本美術展を海老原喜之助と一緒に創設し、郷土美術の育成に情熱を傾けた。同展も今年で51回を数え、現在も審査委員長である。1961年に二科会理事、1978年からは理事長に就任、後進の指導と日本画壇の発展にも力を注いでいる。

働く庶民の姿を堅固な構成で、しかも情感豊かに温かみのある色彩により描き、次々と大作を発表。「水汲」(1964年)が日本芸術院賞、「浜辺の戸戸」(1969年)が内閣総理大臣賞などを受賞。1976年に日本芸術院会員となる。

1985年、文化功労者に顕彰される。

1989年に文化勲章を受章する。

解説

本作品「女達」(第四十七回二科展出品)は、吉井芸術の中核となる一九六〇年代以後展開された、働く女性シリーズの中の代表的な作品である。白衣をまとった女達を並列し、立像による垂直線の強調を基本とした構成と、持ち上げた両腕の屈折による動きの変化が新鮮である。

また、女達の黒いつぶらな瞳が清らかな情感を画面に漂わせている。戦後まもなく、郷里の木古町に疎開していたころ、屋久島にスケッチ旅行に出かけている。島の風物に強く惹かれ、その後、上京してから鮮烈に残る屋久島をもとに、漁婦や、水くみの女たちを好んで描くようになる。

「都会的なはなやかなものよりも、ここで見たような地味で素朴なものの中に、私の求められる色彩や詩情を見つけ、心惹かれるのである」と画伯は述懐している。こうした中で、温かな生活情感を含めた、庶民群像を主題とした作品が次々と生まれたことは印象的である。この時期、形も色彩も単純化を進める一方で、画面に垂直線を中心とした構成意図が表れ、様式的な平面化が大胆に表わされている。白色を主調としたリズミカルな色面構成は、それ自体、画面の深さと清潔感を導きだしているのである。



10月1日からごみ袋が 透明に変わりました。

Q なぜ「透明ごみ袋」になるんですか？

A 黒や青のごみ袋では、もやせるごみともやせないごみの分別が徹底されず、そのことが清掃工場の炉をいためる原因になっています。
また、中身が見えないため、収集作業員が割れたガラスでけがをしたり、小型のガスボンベやスプレー缶の残りガスによるものと思われる発火事故が後を絶ちません。
そこで、①ごみ出しマナーの向上、②作業員の安全確保、③ごみの減量化・再資源化に対する意識の向上を図るために、「透明ごみ袋」によるごみ出しをお願いするものです。

Q 「透明ごみ袋」ってどんなもの？

A スーパーなどで市販されている顔料(着色料)を使っていないごみ袋で低密度と高密度のポリエチレン製のものです。
・低密度ポリエチレン製：無色・透明です。
(主に市販のごみ袋)
・高密度ポリエチレン製：中身が透けて見えますが、すりガラスのような色をしています。
(主にレジ袋)
サイズについては問いませんので、使いやすい大きさの透明袋をご使用ください。

清掃部管理課 ごみ減量係 ☎ 099-224-1111 内線2719